

## 平成二十六年年度臨時理事会議事録概要

- 1 開催年月日 平成二十六年八月十九日(火)午後一時～二時
- 2 開催場所 公益財団法人日本美術刀剣保存協会 四階 講堂
- 3 出席理事 二十名中出席十九名(定足数十一名)
- 4 出席監事 二名
- 5 陪席 森政雄評議員長
- 6 議長の氏名 小野裕会長
- 7 理事長(会長)が定足数を確認し、本会議の成立を宣言しました。

### 7 理事会の議事の経過の要領及び結果

#### 第一号議案 基本財産の処分の承認

柴原専務理事から資料に基づき次のとおり説明がありました。

資料の平成二十五年年度決算書は本年五月十四日の理事会においてご承認いただいておりますが、このうちの財産目録をご覧いただきたい。基本財産として土地、建物、定期預金、投資有価証券とあります。

また、当協会の土地の評価額の総計額が今回第一号議案として処分の承認をお願いする財産であります。

小野会長から、墨田区に計画書は提出したが、まだ概算で、正確な金額が出ていない状況であり、墨田区の土地の使用料も建設費用も未定で、建設費については今後公募の入札で安価な業者で確定します。これらの費用が確定した段階で、また理事会において承認をいただくが、本日は刀剣博物館の建設の費用として、基本財産を処分することのご承認をいただきたい。この件は墨田区の議会の決定で決まることであり、決まらなかった場合は当初考えていた建て替えに計画変更したい。墨田区の話が来る以前は建て替えの方向で検討しており、既にモデルも一度作っている。議会で決定されても今後の墨田区との条件が合わない場合、費用などで合わなかった場合は建て替えを考えることになる。もう一つの案として耐震改修工事費を見積もったところ、五億円という数字になった。改修をしてもやはり建て替えの必要性が出てくるので、この改修の案は現実的ではないといえる。また、事務局より首都圏ハザードマップなど

の資料に基づき、説明があり、総合評価では一番低い1のランクになっているなど災害に弱いとされている墨田区でも特異な場所といえるとの説明があり、種々議論の結果満場一致で異議なく承認されました。

- 8 報告事項
- ①定款第三十一条第五項に基づく業務執行理事業務報告

標記の件については各報告がありました。

### ②その他

福本常務理事より現在進行中の日刀保たたら地下構造の改修工事について報告があった。問題なく計画通りに進んでいること、九月中に完成し、立ち上げができること等の報告がありました。

## 平成二十六年年度臨時評議員会議事録概要

- 1 開催年月日 平成二十六年八月十九日(火) 午後二時三十分から三時三十分
  - 2 開催場所 公益財団法人日本美術刀剣保存協会 四階 講堂
  - 3 出席評議員 十九名中出席十七名
  - 4 出席理事 十九名(評議員会運営規則第2条第2項により出席)
  - 5 出席監事数 二名(評議員会運営規則第2条第3項により出席)
  - 6 議長の氏名 森政雄(兼議事録作成者)
  - 7 議長が定足数を確認し、本会議の成立を宣言しました。
  - 8 評議員会の議事の経過の要領及び結果
- ### 第一号議案 基本財産の処分の承認

柴原専務理事から資料に基づき次のとおり説明がありました。

資料の平成二十五年年度決算書は、本年五月十四日の理事会、評議員会においてご承認いただいておりますが、このうちの財産目録をご覧いただきたい。基本財産として土地、建物、定期預金、投資有価証券とあります。また、当協会の土地の評価額の総計額が今回第一号議案として処分の承認をお願いする財産であります。

小野会長から次のとおり補足説明がありました。

現時点では墨田区の決定はまだ出ていない。使用料についても未定で

あり、建設費用も未定。墨田区から決定が出たら地質調査をして、本設計を作成し、公募入札により安価な業者を選定します。また、基本財産の取り崩しの説明をいたしました。とりあえず建設に充当するために処分することを承認していただきたい。予算の範囲内で交渉し、金額が出たらそこで理事、評議員の皆様了承を取りたい。墨田区は文化施設の誘致を望んでおり、墨田区は協会が移転することを望んでおり、土地の景観は非常に良い。先ほど現地を見学された渡邊評議員のご意見を伺いたい。

渡邊評議員 すばらしい所でした。気になるのは海に近いですので大気に塩分はないか。塩害防止策も検討してみる必要はないですか。

飯田学芸部長 防塵、防虫などについておおまかな助言はすでに文化庁からいただいているが、東京文化財研究所への相談は今後になります。加藤(清)評議員 都市公園法の制約があり、面積が広すぎないか。

柴原専務理事 その点については、墨田区が対応し、クリアしています。小野会長 まだ墨田区も決定ではない。耐震工事の見積も試算したが、五億円かかる。建て替えの試算もしており、八億程度と出ている。建て替えは当初の計画であり、墨田の話が流れた場合は建て替えを考えている。とは言え墨田区移転を第一に考えています。

赤羽評議員 是非進めてほしいが、集客のノウハウを持っている渡邊評議員らの意見を聞いて参考にしてほしい。

小野会長 公益事業推進委員会を立ち上げたところ。これは有識者、特に美術館・博物館の館長らで構成しており、ご意見を伺いながら運営を進めるつもりである。九月二日に第一回の委員会が開催されます。赤羽評議員 協会の収益は殆ど審査料だ。博物館収益を上げてほしい。小野会長 そのためにも、新しい博物館を作ることが必要だと思つています。

また、事務局より首都圏ハザードマップなどの資料に基づき、説明があり、総合評価では一番低い1のランクになっているなど災害に弱いとされている墨田区でも特異な場所といえるとの説明があり、種々議論の結果、第一号議案は出席評議員全員に了承された。